

5月1日 3限 看護統合演習② 事前課題

課題内容:以下の評価表が到達できるような看護技術手順書の作成

期日:5月1日(金)3限に持参

授業場所:看護実習室

服装:白衣、患者役用のシャツとジャージ、学校用ナースシューズ

看護統合演習② 点滴静脈内注射中の寝衣交換 実技試験評価表			
<p>患者設定:左前腕に点滴静脈内注射中の患者の寝衣交換。心不全の患者で安静度は、ギャッチアップ 30 度まで。体位変換は自己で可能である。飲水時に寝衣を汚染してしまったため、寝衣を交換する。点滴指示は、60ml/時間、20 滴≒1mlのルートを使用している。</p> <p>* ベッドは低床ではじめ、低床にもどす。</p>			
	チェック項目	評価ポイント	配点
1	身だしなみが整っている	看護実習室の利用法に準ずる	0.5
2	自覚症状の確認と説明ができる	実施前に寝衣交換の説明をし、同意を得る 実施前に苦痛の有無、排泄の有無を確認する 実施中に分かりやすい言葉で患者に説明する 終了後に苦痛の有無を確認する	0.5
3	環境を整えることができる	カーテンを使用する(言葉) ストッパーの確認をする 室温の確認をする 点滴架台を適切な位置に置く ふとんからタオルケットに変えて寝衣交換する	1
4	実施前の観察ができる	以下の確認をする(言葉) ・滴下数が適切か ・ルートの屈曲がないか ・刺入部の異常はないか ・刺入部が確実に固定されているか	1
5	基本的な寝衣交換ができる	関節を支えて着脱する 汚れた寝衣は内側に丸める	1
6	左腕の脱衣が安全に実施できる	右腕から脱衣する 刺入部に袖が引っ掛からないように脱衣する 袖から腕を抜き、その後点滴ボトルを通す 点滴ボトルを点滴架台からはずす時にクレンメを閉じる 点滴ボトルは、上下変えないように袖を通す	1
7	左腕の着衣が安全に実施できる	袖に点滴ボトルを通してから、左腕を通す 点滴ボトルは、上下変えないように袖を通す 左腕を通す時は、刺入部に袖が引っ掛からないように着衣する 点滴ボトルを通した後でクレンメを開く	1
8	滴下数の調整ができる		1
9	安全に留意して実施できる	ベッドから離れる時は柵を使用する 援助を通し安定した体位で実施する 点滴ルートを引っ張ることなく実施できる	1
10	実施後の観察ができる	以下の確認をする(言葉) ・滴下数が適切か ・ルートの屈曲がないか ・刺入部の異常はないか ・刺入部が確実に固定されているか	1
11	全体にスムーズに実施することができる	報告まで、10 分以内で終了する	1